（第２号様式）（用紙日本工業規格Ａ３横長型）

令和４年４月 30 日

神奈川県教育委員会教育長　殿

県立三浦初声高等学校長

令和４年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	（　月　日実施）	成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の主体的に学ぶ意欲を高め、基礎学力を充実し、確かな学力の定着を図る。 ②学科併置の特色を活かし、学びの楽しさを実感できる学習活動を展開する。	①ＩＣＴ活用をより一層定着させることにより生徒が主体的に学ぶ意欲を高め基礎学力を定着させる。 ②学科併置の特色を活かし，より一層充実した教育活動を展開する。	①一人一台端末の導入も含め、全校生徒を対象に基礎学力充実を目指した学びのスタイルを確立する。 ②学科併置の特色を意識した授業展開の確立を目指す。	①全校生徒を対象にＩＣＴを活用した学びのスタイルを教育活動の中で確立し基礎学力を育成することができたか。 ②学科併置の特色を活かして工夫された教育活動を実践できたか。					
2	生徒指導・ 支援	①基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成を図り、支援の視点を生かした生活指導に取り組む。 ②幅広い教育活動の機会を活用し、コミュニケーション能力及び自己有用感の育成を図る。	①問題行動の未然防止と発生時とその後の対応の体制を整える。 ②日常の感染防止対策実践の継続とともに、新型コロナ対策に対応した行事等を通して、コミュニケーション能力及び自己有用感を向上させる。	①生徒の規範意識の向上を図り、指導と支援の双方から生活指導を行う。 ②感染防止対策を徹底し、コロナ禍にも対応できる、行事等を立案し、生徒が主体的に参加、行動できる機会を作る。	①指導と支援の連携により、問題行動への速やかな対応ができたか。 ②感染防止対策を十分に実施できたか。 行事への取り組みを通して、生徒の充実感、主体性・実行力・コミュニケーション能力などの向上を確認できたか。					
3	進路指導・ 支援	①地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成に向けて、生徒が自ら目標を設定し主体的に取り組むことができる進路指導の充実を図る。	①校種間を連携したキャリアパスポートの活用やインターンシップ等の職業体験、講演会等による３年間継続した進路指導計画を構築する。	①キャリアパスポートを利用した各年次の計画的な進路探究を充実させる。 また、３年間を見通した進路指導計画を再策定し、希望する進路実現へと繋げる。	①各年次のキャリアパスポートを活用した進路探究計画の実施状況。 ３年間の進路計画表の再策定及び計画の実施状況の把握とアンケートによる定着の度合いの確認。					
4	地域等との 協働	①地域の特性を理解し、地域とのかかわりを持ち貢献することで、自己有用感・自己肯定感や社会性を育む。 ②地域の教育力を教育活動に活かす。	①コロナ禍の中での地域貢献活動の実施の工夫やHP等での情報発信を充実させ、地域の教育力を教育活動に活かす体制を構築する。	①地域連携活動として「産農人」プロジェクトの発展、充実を引き続き発信する。HP や ICT 等を活用した情報発信を通して、教育活動の成果を広くアピールする。	①地域貢献や地域連携活動の成果を広く発信するため、特に HP の充実・改善による情報発信を通して、教育活動をアピールすることができたか。					
5	学校管理 学校運営	①両ｷｬﾝﾊﾟｽの環境や連絡・防災体制を整備し、安心安全で信頼される学校づくりをする。 ②生徒にとって生き方のモデルとなるようなﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽを充実させる働き方を実現させる。	①両ｷｬﾝﾊﾟｽの避難訓練を同時実施により、問題点等の洗い出しを行い、災害体制作りを行う。 ②効率的な業務遂行に向け、計画性を重視した組織的な取組を実践し、勤務時間を意識した心身ともに健康で安全で安心な働き方を追求する。	①入江・和田の両ｷｬﾝﾊﾟｽにおいて、同日・同時刻に発生した地震に対する避難訓練を行い、様々な状況把握等を行う。 ②業務内容の精選を図ると共に業務量の均等化や、効率的な業務の遂行等を意識し、ﾜｰｸﾗｲﾌﾊﾞﾗﾝｽの重要性の意識を高める。	①入江・和田両ｷｬﾝﾊﾟｽ間での連携が取れていたか。速やかな人員等の掌握ができていたか。 ②勤怠管理システムを活用し、長時間勤務の職員が少なくなったかを検証するとともに、職員の健康状態が向上したかを産業医の意見をもとに確認する。					